

紅美鈴
不倫昔話

DOJIN
R18
Adults Only



めっ

めっ

めっ

ほんと助かるわ美鈴
私以外でレミリアが
懐くの、貴女だけだから
他のメイドに抱っこ
させるとギャーギャー
騒ぐのよ？その子

エストリー・スカーレット
レミリアの母

はいはい
お呼びになりましたか
レミリアお嬢様？

めっ
めっ

あら、そう…
でも平気なの？
ノスフェルの専属メイドに
なつてから最近
貴女の体調が良くないつて
小耳に挟んだけど…

はいいえ
奥様のお手伝いが
出来るのであれば
なんなりと申し付けて
くださいませ

ぼーん
ぼーん

めっ

めっ

…大丈夫ですよ
気づかれてはいけない
この奥様にだけはー

ぼーん
ぼーん





いつもより遅かったな
 夜は短い
 準備は出来ているのか
 美鈴

ノスフェル・スカーレット
 レミアの実父(エストリーの夫)



週に三度、
 地下の寝室に足を
 運んでいることを—

ギイイイ...

カッ
 カッ



だんな様
 その前にお話が—

パタン...



ほお、
 ここに来る間に
 準備を整えてきた奴が
 言う台詞ではないな美鈴

あー

あー

あー



だ、だんな様
 落ち着いて話を—

あ



ふむっ
 ん...んっ



ずんずんずんずん

ふっ
んんっ



後ろを
向け美鈴

旦那さま、
奥様のことですー

すっ



ああこれだ！
妻のエストリーでは
味わえないこの肉体

素晴らしいぞ
美鈴

だんっなっ
さまあつ

ぬちゅ

あつ
ふああ

ぬちゅ



もう隠しきれません
おく。
奥さまがっ
私に異変を感じてます

バレてしまうのも
時間の問題です
どうか...っ
どうかお考え直して
くださいー

あっ



私が構わないと
言っているのだ
メイドのお前が気にするな

ですがー

ぬっちゅ

ぬっちゅ

かはっ
はっああっ

から
から



そんなっ
そんなこと、はっ
はあっ

あっ

ほっばあ

美鈴は私が
命じた夜伽に
無理やり従わされただけー

エストリーには
そう答えればよいのだ

それに
この部屋に来た時点で
お前も期待をしている
のではないのか？

ビク
ビク
♡♡♡

ああ、
そろそろだ美鈴

だっ ダメです
だんなっ さまあつ

私のすべてを
包み込んでおくれ

仕上げだ美鈴
キレイに掃除を
するんだ

……はい……
旦那さま……





ふむそうだな
今日はこれまでだ
「ちんぽ」に集中して
くれぬやうだしな
どしや
どしや

あ…

すっ



は…

れろ…



んむ

ふあ…



そもそも、
エストリーがレミアア
ばかりに目をかけて
いるのがいけないのだ

もしエストリーに何か
言われたらそっ
伝えれば良い

旦那さま…

旦那さまは
理解していないー



もにゃ
んちゅ…

ちゅ

ちゅ

もにゅ



ちゅあ…

ちゅあ…

ちゅあう



がちゃ

あつ... あつ...

がちゃ

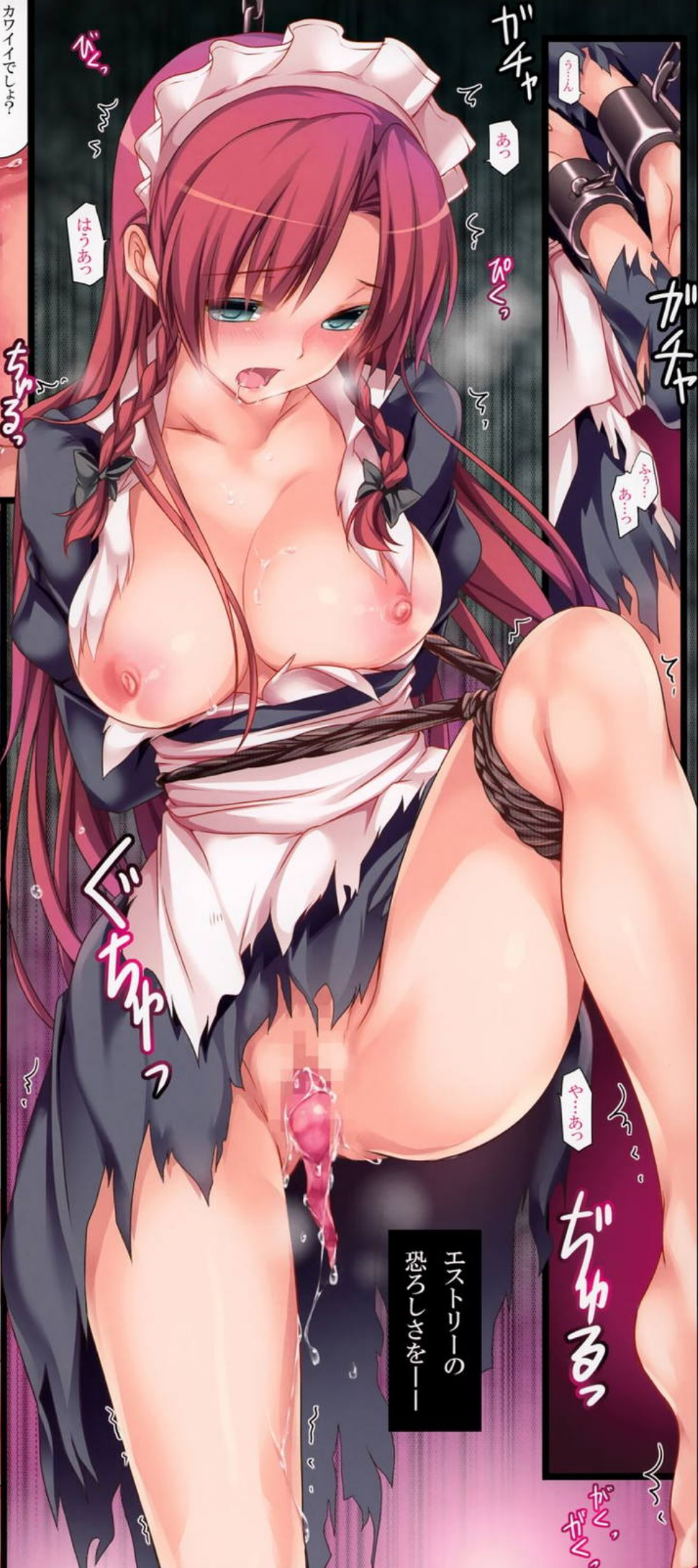
あつ

がちゃ

や...あつ

ぢゅるる

がちゃ



はうあつ

ぢゅるる

ぢゅるる

エストリーの
恐ろしさをー



ぢゅるる

カワイイでしょう？
子宮に吸い付くその蛭、
牝の捕虜を快樂墮ち
させる為に用いられた
生物なの



ノスフェルのモノより
絶対気持ちいいと
思うわ



ごめんなさいね美鈴
アナタをすぐに
始末してあげたいけど



あの人のお気に入り
私が殺めることは
できないから...

淫乱な体つきね
この大きな脂肪の塊で
あの人を唆したのかしら

ひっ
痛っうう

口答えしないって
ことは図星みたいね

ち、ちがっ
あうああああーっ

吸われてるー

ムチャクチャ

子宮が
とれちゃう

あああ
おかしくなる、
やめ、うあ、
あああ

いつちやったのおろ？
もう少し耐えると思ったけど
とんだ牝犬だったようね

あはははは

ガラガラ

まあいいわ
次に進められるから

あ
あ

ムチャクチャ

ズ
ズ

ム

ム

ム



なに...を...



人間の中でも特に
価値もない
いわば家畜—

私たちが妖怪の
為に連れてこられた
食用の人間



キレキレ

うそでしょ...
やめてっ
離してっ

いやっ—

牝犬のあなたには
家畜の相手が
一番ふさわしいわ

ねえ 美鈴？

いやだ
こんなの

くっく

くっく

くっく

家畜のエサにだけは
なりたくないー

ぢゅぽん

ぢゅぽん

ぢゅぽん

あーあーあー
あーあーあー

ぢゅぽん

く

く





いやー
だれか
だれか
だれかたすけて

ほー
ほー

けほ
△ほ

ぞろぞろ

ぞろぞろ

こうなることは
わかってたのにー
早く紅魔館を
出ていけばよかったのに！

おっ

ほほ

ぞろぞろ

あなたには
ここがお似合いよ美鈴

ト
ロ
ロ...

はー
はー

きんきん

ふる
ふる

ちゅ

ぽた
ぽた

今度ノスフェルを喰したら
しばらくこの地下で住みついて
もらおうかしらね

あははは

どうして紅魔館を
離れられなかったのだから

あんなで
逃げられたはずなのに

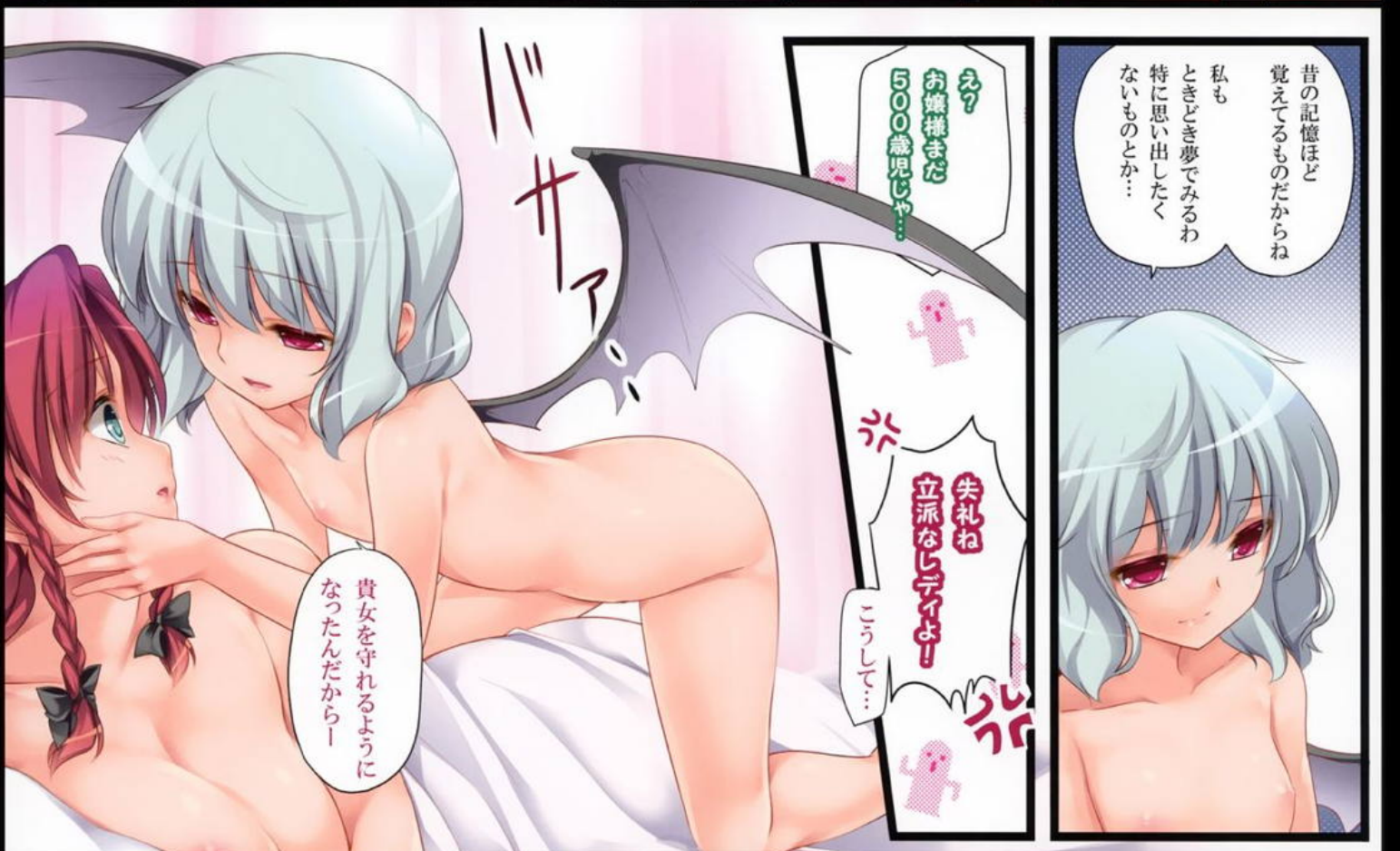
何の未練も...

ないのに

め

めー



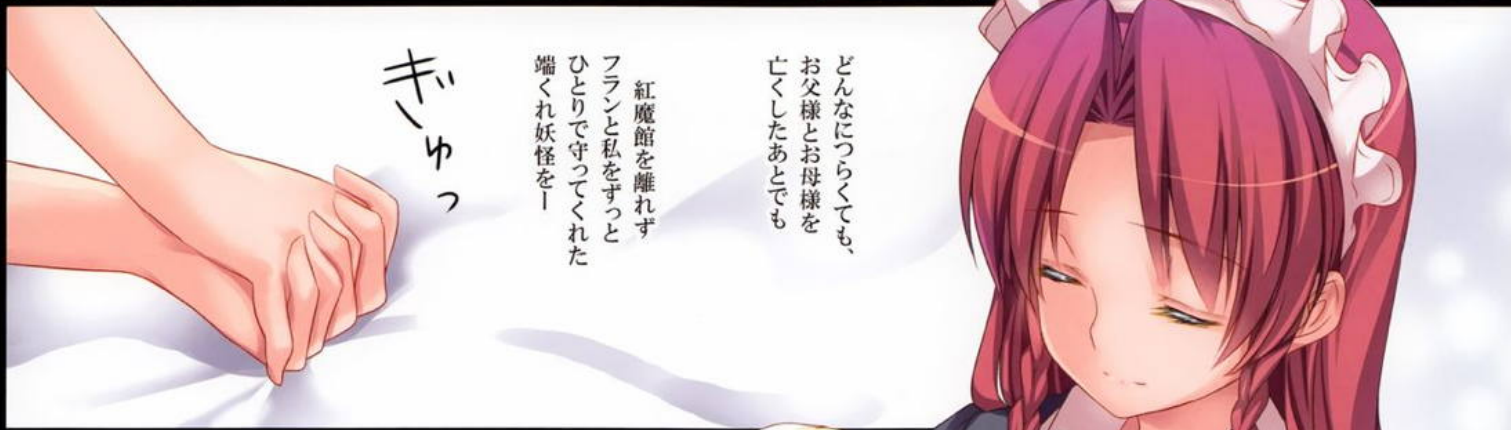




大丈夫
めりんのことは
このレミリア・スカレットが
守る

ずつとずつと
そばに居るわ

もうあんなに！
つらい顔をした美鈴の
顔は見たくない



どんなにつらくても、
お父様とお母様を
亡くしたあとでも

紅魔館を離れず
フランと私をずっと
ひとりで守ってくれた
端くれ妖怪をー

ギョッ



幸せにしてやれないで
何が主人だー

ふふっ、
どっちが従者か
わかりませんね

従者なんて
建前じゃないか



私には紅魔館の皆を
護る義務がある

それが
大黒柱ってもんでしょ？



……



だから美鈴のことも
母として、
妻として、
幸せにするよ♡

ちゅ♡



キザなレディに
なりましたねえ

ずっと昔に読んだ漫画に
ヴァンパイアが
こうやってプロポーズした
ようやく使えて嬉しいわ
えへへ♡

【あとがき】

こんにちは、もねていです。

←今回は缶田一斗氏の同人小説を基に漫画を描かせていただきました。紅魔館500年前を舞台にしたメイドめーりんと先代主人の不倫ものです。さすがに輪姦されるめーりんを描くのは可哀想で今まで描けずにいたのですが、最後に百合で締めたことでなんとかモチベーションを保てました。輪姦ものはエロい!が、可哀想で描けない…ってのがネックだったのでねえ。やっぱ百合だよ百合。

実際の小説の中身は私の漫画とは少し違い、旦那様とはこのようなシチュ(し)があります。全体的に鬱展開ですがめーりんを抱きしめたい・助けてあげたい・愛おしいと思える作品ですので是非是非一読してみてください。



はい、というわけで私の漫画はさらにオリジナル要素が入り、めーレミをメインにおいた作品となっております。一応解説しておきますと、美鈴がどんなに酷い目に遭わされても紅魔館を出て行かなかった理由は『レミアお嬢様を気に入っていたから』です。そしてレミア自身も美鈴のことが大好きで、だんだんと元気がなくなる美鈴に「ばいーんばいーん♪」で励ましていたわけです。

(それが描きたかっただけ)



長々となりましたが以上です!

エロ塗りに慣れてきたこともあり次回の漫画もフルカラーになると思います。めーりん一途なのは変わらずあれやこれやとシチュを変えて今後も楽しんで描きますよー。

そろそろSっ気な攻めーりん描きたいぞー!

それでは、
また次回の本でお会い致しましょう〜バツ

<スペシャルサンクス * 缶田一斗さま>





発行 : MONEけしごむ

発行者 : もねてい

発行日 : 2014年8月16日

印刷 : トム出版 様

連絡先 : daifuku1285@yahoo.co.jp

: pixiv ID = 3066815



※本誌の無断転載、複写、ネット上への無断公開を禁止致します。

